

平成 31 年度 神戸市「農業サポーター高度化事業」仕様書

1. 事業の目的

本市内の農家人口は減少傾向にあるとともに、農家の高齢化も進んでおり、農業における労働力確保が課題となっている。一方、都市と農村が近い本市では、農業に興味のある都市住民による農業体験や市民農園の利用など行われており、農業への関心は高い。

そこで、農業に関心のある市民を農業サポーターとして育成・登録するとともに、サポーターと支援を必要とする農家を結びつける窓口を運営し、持続的に市民が市内農業を支援する体制の一層の充実を図る。

2. 事業内容

神戸フルーツ・フラワーパーク内、および西区内の農地を活用し、農業に興味・関心のある都市住民に対して、農業の基礎知識や栽培技術の習得に必要な実地研修と座学研修の研修カリキュラムを実施する。また、農業者の下での現地実習を行うことで、実際の農業に触れる機会を設ける。農作業の即戦力となる農業サポーターを育成し、支援を望む農業者とのマッチングを行う。

○登録及び研修業務（実習回数：8回/年以上）

①登録希望者の募集

西区、北区他を対象にサポーター登録希望者を募集し、研修参加者等を登録する。

②研修業務

神戸フルーツ・フラワーパーク内、西区内の農地を活用して行い、年間 40 人以上のサポーターの育成を図る。

（1）実地座学研修

サポーター登録希望者を研修生として位置付け、野菜や果樹栽培を中心とした農作業実習の実施により、農業者が求める一定程度の技術を習得する。

また、実習にあわせ神戸市農業の実態等について講義を行い、知識の習得を図る。

（2）農家研修

現地実習を通して、実際のマッチングに応募した際の作業の感覚を掴むことで、年間を通じたマッチングへのハードルを下げ、参加しやすい環境を設ける。

※H26～30 年度の登録済農家については神戸市から情報提供する。

○マッチング業務（通年）

① マッチング窓口の開設

登録者情報を管理（サポーター・受入農家の情報収集、管理、広報等）し、サポーターと受入農家のマッチングを随時行う（マッチング：20回/年以上）。

② 農作業支援が円滑に実施されるためのサポート

サポーターと受入農家間の連絡調整等、サポーターが現場で円滑に農作業支援できるよう適切なバックアップを行う。

※H26～30 年度の登録済サポーターについては神戸市から情報提供する。

○実地座学研修圃場の管理(通年)

実地座学研修圃場にて栽培している農作物の生育管理および圃場内の除草などの日常管理を行う。

*圃場管理時に研修生や登録サポーターに対して栽培技術指導も同時に実施する。

3. 業務委託期間

平成31年4月1日から平成32年3月31日

4. 事業の実施場所

(1) 実地座学研修

①神戸フルーツ・フラワーパーク内 わんぱく広場の農地 (500 m²)

〒651-1522 兵庫県神戸市北区大沢町上大沢2150

②西区内農地

神戸市就農促進コーディネーターの中から実施場所を確保 (500 m²程度) すること。

(2) 農家研修

これまで受け入れ農家として登録のあった農家等で実施する。

5. 委託事業の対象となる事業費

本事業を遂行するために必要な経費であり、かつ通常業務と区別して経理することが可能な次の「研修経費」、「事業運営経費」、「その他の経費」とする。

(1) 「研修経費」

講師謝金、講師交通費、圃場管理費 等

(2) 「事業運営経費」

人件費、旅費 等

(3) 「その他経費」

資材費、広告費、印刷費、消耗品費、会場費、一般管理費 等